



第3号では、7月に行われた本校のSSH事業と本校生徒の活躍の様子について紹介します。

○玉島サイエンスフィールドワーク

理数科1年生を対象に、7/23(水)から1泊2日で玉島サイエンスフィールドワークを実施しました。この事業では、企業見学や専門家による講演、フィールドワーク、プレゼンテーション及び発表に取り組む中で、自然や科学を一体的に学び、広い視野を育むことを目的としています。暑い中、初日から研修が目白押しでしたが、生徒は最後まで意欲的に研修に取り組んでいました。



以下は本校生徒の感想です。生物や環境への興味・関心が高まるだけでなく、それらの学びの深化が感じられる充実した研修となりました。

- ・同じ班の人と協力して課題を解決する力や、自然環境について考える力などが成長しました。企業を訪問したり、講演を聞いたり、実際の自然環境を見たりすることで、今の自然環境やその対策として何をしているかなどについて身をもって知ることができました。これらの力をいかして、自分にできることを考えて実行していきたいです。
- ・山、海、企業など多くの場所を回っていくことで様々な視点から動植物や環境について考えることができた。この体験を忘れず、課題研究などにいかしていけるようにしたい。この活動に関わって協力してくださった沢山の人の人への感謝の気持ちを忘れないようにしたい。

○玉島サイエンスフェア

7/26(土)に本校を会場にして行われた玉島サイエンスフェアの様子です。地域の小学生を中心に、150名を超える地域の方にご参加いただきました。本校からも100名以上の生徒が実験講師やスタッフとして参加し、終始大盛況でした。



以下は本校生徒の感想です。地域の小学生に科学の面白さを懸命に伝えている高校生の活躍が随所に見られました。

- ・自分たちで準備や模擬実験をして、どのような実験内容にしたら子どもたちが楽しめるかをチームのみんなで考えられたので良かった。当日はうまくいかないこともあったけれど、みんなで助け合いながら終わることができたので達成感を味わうことができた。普段なかなか小学生の子たちと実際に関わる機会がなく、自分の説明がうまく伝わらなかったもので、伝え方の大切さも実感できた。
- ・小学生相手に簡単に説明しなければならないので、何より自分自身が理解する必要があると思い、サイエンスフェア中も何度も実験を繰り返した点が今までの自分にはない成長だと思う。このことを、普段の理科の学習の際に、学びを深めるためにいかしていきたい。